

皆さんおはようございます。今、ご紹介した靄田副校長先生を始め七名の先生方と、この場にはいらっしやいませんが、商業と英語の授業をしていただく時間講師の先生方三名、そして、明日入学式を迎える七十名の新入生を加えて平成二十五年度佐世保中央高校昼間部がスタートします。新入生を温かく迎え、そして新しく出会う先生方との触れあいを大切にして、この二十五年度が皆さんにとって充実した素晴らしい一年になることを願っています。

終業式の折に「キャッチフレーズと校訓」について話をしました。登校する際に気付いた人もいます。キャッチフレーズの懸垂幕横に新たに校訓の懸垂幕を掲げました。何かに行き詰まったり、迷ったり、あきらめてしまおうかと思ったりした時には、この懸垂幕と中庭に設置されている、中央魂を表す「不撓不屈」の記念碑を思い浮かべてください。この励ましの言葉が力となって、新たな一歩を踏み出すきっかけになるかもしれません。

さて、始業式にあたり皆さんに次の話をしたいと思います。それは「志の実現に向けて最大限の努力をしてほしい」ということです。明日の入学式でも新入生に向けて話したいと思いますが、明治維新を成し遂げた幕末の志士に大きな影響を与えた吉田松陰は、「立志は万事の根源なり」という言葉を残しています。意味するところは、将来をどう生きるかについて志を立てる、方向性が定まれば残り一年、二年の高校生活をどのように過ごさなければならぬか、そして課題は何なのか、それを克服するために何が必要なのかが見えてくる。つまり夢を持ち目標を立てることからすべてが始まると言っているのです。昨年一年間遅刻を何とか減らそうと様々な取り組みを行ってきました。その成果もあり二十三年度に比べるとかなり遅刻が減少しました。またそれだけではなく、出席率も向上しています。遅刻の多いことが

強調されていますが、終業式前に表彰したように、一年間無遅刻・無欠席の人も多くいるのです。また、各種検定やスペリングテスト、漢字テストでも多くの人を表彰しました。

このように簡単に遅刻や欠席をしない人、資格取得に頑張っている人は志を立て、自分の目標に向かって努力を続けている人ではないでしょうか。しかし、皆さんの中には目標が定まらず、将来への不安を感じている人もいます。以前「凡事徹底」という話をしました。誰でもできることを粘り強く徹底して行う。そうすれば自ら目指すものが見えてくるという意味です。

「誰でもできること」とは何か。それは時間を守ることを大切に、一時間一時間の授業に真剣に取り組む。これが皆さんに共通する「誰でもできること」であり、「やらなければならない」ことなのです。これを毎日積み重ねていくことによって、「志」つまり目標が定まってくるのだと思います。

さあ、平成二十五年度のスタートです。三年次生は今日から進路実現に向けて一日一日を真剣に過ごさなければなりません。四年次・二年次生も将来どう生きるかについての「志」を立て、充実した一年になるよう努力を続けてください。

日課表も変更され、朝の十分間読書に打ち込める環境も整いました。多くの本に触れることにより皆さんの人生がより豊かになることを願って私の話を終わります。